

高齢者等外出支援
事業について



問者席
印南 典子 議員

質問…ある方のお話を聞きました。高齢で人工透析を受けているお父様と暮らしていて、毎朝出社前に病院へ父親を送り、お昼休みに透析が終わった父親を自宅に送り、再び会社に戻る生活を3年以上送って、心身共に疲れ切っていたそうです。先頃介護認定を受けて、外出支援事業が利用できる様になり、息子さんの負担が無くなつてとても喜んでおります。今後も増える

透析患者やご家族の重い負担を軽減する為に、外出支援事業の利用者範囲を拡大して透析患者であれば外出支援事業が受けられる様に出来ないか伺います。
答弁…現在人工透析によって本事業を利用している方は18人。本市では人工透析患者数は平成26年度は142人、30年度は154人と増加しており支援強化は必要と考えていますが、現状の支援事業の利用状況等も精査

し見直しが必要かどうかを判断したい。
質問…社会貢献に参画したい市民や団体などの担い手づくりを始めてはどうか伺います。
答弁…議員からご提言ありました件、非常に示唆に富んだ内容がありますので、ニーズの把握と現状認識をして検討してまいりたいと考えております。

一般質問



秋山 幸子 議員

非核平和都市宣言
を掲げた本市の取
り組みについて

質問…市が主催する原爆写真展の進捗状況をお聞きます。

答弁…原爆写真展につきましては、本庁舎市民ギャラリー等において8月上旬に開催を予定しており、7月1日号市広報及び市ホームページで市民の皆様にご周知してまいります。

なお、掲示する写真につきましてはは広島平和記念資料館より広島、長崎原爆写真パネルを借

用し展示することで、広島、長崎の原爆被害の実相を示し、宣言文に込められた核兵器の廃絶と世界の恒久平和の願いを伝えていきたいと考えております。

質問…大田原市は2011年に平和首長会長に加盟し、ほかの市町とも連携し宣言文の重みを市民とともに共有するとしています。「非核平和都市宣言」の標語がいつも市民の目に触れる

場所に設置されるよう求めます。
答弁…以前は文化会館の前は懸垂幕が2本でしたが、今回は、文化会館のほうにも場所がありますし、なおかつ本庁舎のほうにも三角ポールで2本できますから、合計4本あれば、そのうちの1本は常時パネル展の期間中は張れるようになるかと考えております。